

ACS Core Plus 学外アクセス設定ガイド

LC センター事務課

本学では、アメリカ化学会(American Chemical Society)が発行する雑誌のうち、主要 20 タイトルが閲覧できる契約しています。下記の設定により、学外からもアクセス可能になります。どうぞご利用ください。

Google CASA (Google Universal CASA)による設定

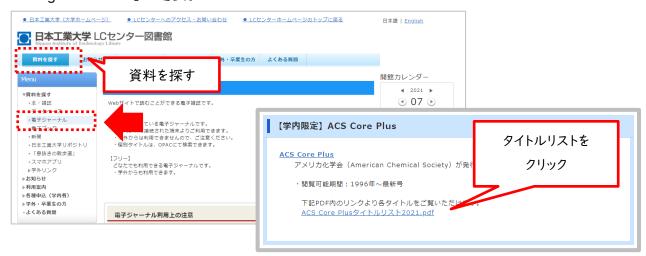
Google Scholar との連携サービス Google CASA による学外からのアクセス方法です。同じ Google CASA でも学会・出版社によって利用方法、有効期限は異なりますので、ご注意ください。

- I、 <u>学内 LAN に接続された端末</u> (大学の無線 LAN に接続されたノートパソコン・タブレット・スマートフォン等、または LC センターや研究室などの常設パソコン) から、Google Scholar(<u>https://scholar.google.com/</u>) にアクセスしてください。
- 2、ご自身の Google アカウントでログインすれば、設定完了です。

学内 LAN に接続された端末から Google Scholar にログインすると、アカウントと所属情報が紐づけされます。 これによって、学外から Google Scholar 経由であれば、ACS 雑誌掲載論文を読むことができるようになります。



3、本学で契約しているアメリカ物理学協会 (ACS)の雑誌 20 タイトルは LC センター (図書館)ホームページ (https://library.nit.ac.jp/)より確認できます。メニューの「資料を探す」→「電子ジャーナル」→一覧から「AIP Digital Archive」を選択。

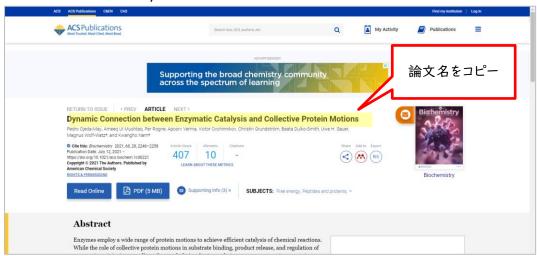


【電子ジャーナル】

4、学外から直接 ACS サイト(https://pubs.acs.org/)にアクセス、雑誌を選択し、論文を読もうとすると、認証選択ボタンが表示されており、論文(PDF)を読むことできません。

読みたい論文があれば、論文名をコピーします。

例)雑誌「Biochemistry」に掲載されている論文



- 5、Google Scholar にログインした状態で、先ほどコピーした論文名で検索。
 - ※学外から利用する際は、手順①②でアカウント紐づけ設定した時と違う端末でも可能です。



6、検索結果画面の右側に表示される本文リンク「[HTML]acs.org」をクリックします。

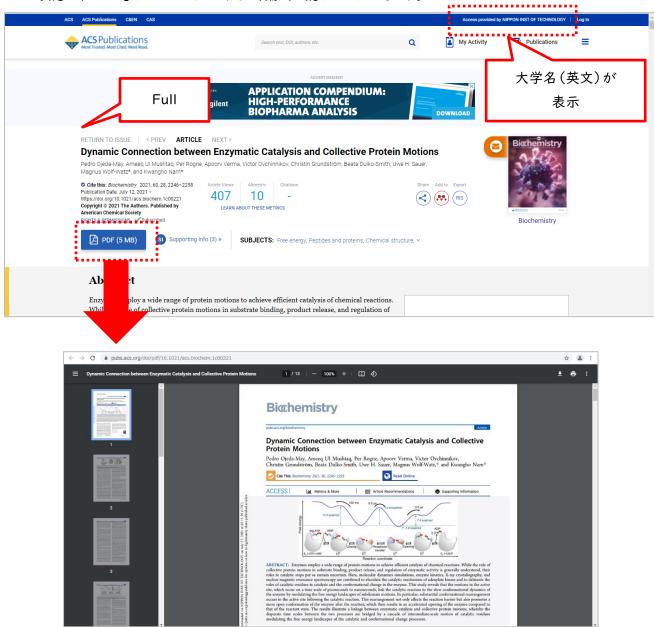


※検索結果をよくご確認ください。

Google Scholar の検索対象は多岐に渡るので、論文名が似ている別の論文や、出版社版(正式版)でないものがヒットしたりすることがあります。また、出版社によっては雑誌発行から Google Scholar でヒットするようになるまで日数がかかる場合もございます。

【電子ジャーナル】

7、Google Scholar経由でACSサイトのページを見ると、画面右上に大学名(英文)が表示されます。 この状態で、「PDF」ボタンをクリックすると、論文を読むことができます。



※Google CASAは、設定から90日間は有効です。90日経過後は、同じ手順を行うと再度利用できます。